

大事なペットを守るために

備えよう！ いざという時のために



所有者明示

災害発生時にはペットと離れ離れになってしまう場合があります。ペットが保護された際にあなたの元に戻れるよう、所有者がわかるようにしておきましょう。

健康管理

平常時と異なる環境でペットが体調を崩したり、他の動物との接触による感染を防ぐために、普段からペットの健康管理に注意しておきましょう。

しつけ

発災時には、ペットがパニックになり、いつもと違う行動を取る可能性があります。こうした状況下でも人とペットが速やかに避難し、避難先での迷惑行動を防ぐために、普段から基本的なしつけをしておきましょう。

避難方法の確認

災害が起きたら、まずは自分の安全を確保し、その上でペットの安全を守りましょう。スムーズに避難できるよう、避難場所及び避難経路を確認しておきましょう。

防災グッズ

- 1 動物の健康や命に係わるもの
- 2 情報
- 3 ペット用品

在宅避難でも避難所においても、ペットの飼養に必要なものは飼い主が用意しておく必要があります。ペットの避難及び飼養に必要なものを、日頃から備蓄しておきましょう。備蓄品には優先順位をつけ、優先度の高いものは避難時にすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



ペット災害手帳「ペットと私のお守り手帳」の
ダウンロードはこちらから



チェックしてみましょう



1

- 鑑札・狂犬病予防注射済票の装着
マイクロチップの装着
- 飼い主の情報や連絡先を記録した
迷子札の装着



- ペットフード5日分※可能なら7日以上、
飲み水、食器

- 療法食、薬

- キャリーバッグ、ケージ

※犬の係留が難しいケースも想定
されるので、折り畳みタイプのケージ等を準備

※猫の場合、洗濯ネットと併用すると良い

- 予備のリード（伸びないもの）

- トイレ用品（ペットシート、ポリ袋等）



- 不妊・去勢措置



- 狂犬病予防接種や各種ワクチンの接種

- 寄生虫の予防・駆除



- しつけ（不必要に吠えない、人や他の
動物を怖がらないなど）をしておく

- 決められた場所で排泄ができるように
トレーニングしておく

- ケージやキャリーバッグに入れるよう
慣らしておく



- 最寄りの避難所の場所と避難ルートを
確認しておく



2

- 飼い主の連絡先、預け先などの情報

- ペットの写真

- ワクチン接種状況、既往症、投薬情報、
健康状態、かかりつけ動物病院の情報
など



3

- タオル、ブラシ、ウェットタオルなど

- お気に入りのおもちゃ、ブランケット
など匂いがついた用品

- ガムテープ、新聞紙、消臭剤など



※備蓄品の持出しには優先順位をつけましょう



東広島市生活環境部生活衛生課

TEL：082-422-1048